

フィックスシリーズ 軽量・速硬性ポリマーセメントモルタル

フィックス LS (ライトスペシャル)

フィックスLSは、速硬性セメント、軽量骨材、及びガラス繊維を主体とした無収縮性無機質材料に、特殊高分子エマルジョンを配合し、**作業性を重視**して開発したコンクリート欠損部の断面修復材です。特殊セメント分野で優れた実績を持つ弊社が開発した作業性改善技術により、従来のポリマーセメントモルタルの最大の欠点であった**コテ引きを解消**しています。

特長

▶ 優れた作業性

ポリマーセメントモルタル特有のコテ塗り時のベタツキを無くしたため、コテ伸びやコテ離れに優れています。又天井部の施工においても、薄塗りはもちろんのこと、3cm以上の厚塗りも可能です。吹き付け作業においても変形能が高いため、リバウンドロスを20%以下に抑えることが可能です。

▶ 速硬性

長い可使用時間を持ちながら、硬化が始まると急激に強度を発現します。気温によって異なりますが5℃以上であれば3～6時間で実用強度に達します。

▶ 優れた接着力

特殊高分子エマルジョンの添加によりコンクリート面への接着力に優れています。

▶ 耐透水・耐吸水性

粒度調整による硬化体の緻密化及び高分子エマルジョンの成膜により、耐透水性や耐吸水性に優れています。

▶ 耐久性

ポゾラン物質の添加により、長期的に安定した強度を保持します。

▶ 熱膨張係数・静弾性係数・長さ変化率

熱膨張係数・静弾性係数が小さいため、温度変化による亀裂や剥離を防ぎ、収縮による亀裂の発生を抑制しています。

用途

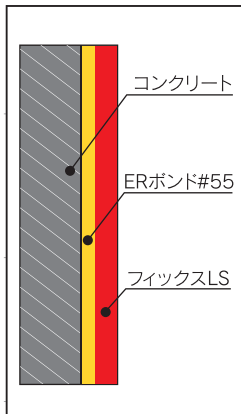
▶ コンクリート構造物の欠損部断面修復

▶ 低温時・作業時間短縮時

配合及び材料使用量

配合	粉体	20kg
	混和液	2kg
	水	2.8~3.6kg
塗り厚別 材料使用量 (kg/m ²)	10mm	13.2
	20mm	26.4
	30mm	39.6
	50mm	66.0
練上り量		16.7ℓ
積算比重		1.32
1m ³ 使用量		60セット

●施工図



●荷姿 (22kgセット)

- ・粉体 20kg
- ・混和液 2kg



●使用上の注意

- ・LS混和液(特殊高分子エマルジョン)以外の樹脂は使用しないで下さい。
- ・セメント、骨材、混和材等の混入は避けて下さい。
- ・調合は規定通りに行い、過度の混練は避けて下さい。(混練時間2分程度)
- ・冬用・夏用の二種類があります。冬用は5～20℃を、夏用は15～30℃を目安に選択して下さい。
- ・防錆仕様の場合は、フィックスLS 1セットにつき400gのアルカード(亜硝酸リチウム)を配合して下さい。

性能

● 温度と強度の関係

試験項目	材令	フィックスLS(冬用)		フィックスLS(夏用)	
		5℃	20℃	20℃	30℃
圧縮強度 (N/mm ²) 試験方法 JIS A 1171	3時間	—	11.2	—	11.2
	5時間	5.4	—	5.7	—
	1日	15.8	16.3	18.5	17.7
	7日	21.3	22.5	22.4	23.2
	28日	30.2	32.5	32.0	32.7
曲げ強度 (N/mm ²) 試験方法 JIS A 1171	3時間	—	2.8	—	3.1
	5時間	2.0	—	2.2	—
	1日	3.8	4.1	3.8	4.1
	7日	6.2	6.8	6.9	6.8
	28日	7.3	7.6	7.7	7.5
接着強度 (N/mm ²) 試験方法 建研式	1日	1.32	1.42	1.27	1.42
	7日	1.81	2.20	2.05	2.35
	28日	1.96 (2.52)	2.50 (2.56)	2.35 (2.56)	2.50 (2.58)

()内はERボンド#55使用時

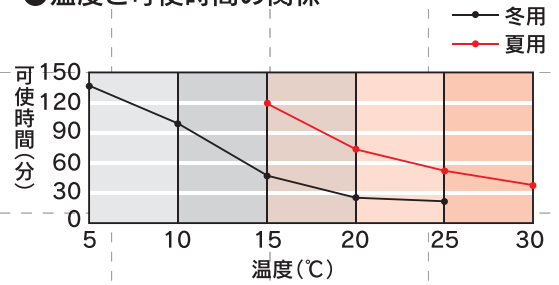
注)上記は当社実験室で試験を行った結果であり、品質保証値ではありません。

● 一般物性

試験項目	材令	試験結果	試験方法
熱膨張係数 (-20~60℃)	28日	1.03×10 ⁻⁵	NEXCO断面修復材料(左官工法) 熱膨張性試験方法
静弾性係数 (N/mm ²)	28日	1.1×10 ⁴	コンプレッソメーター法
長さ変化率(%)	28日	0.025	JIS A 1129
透水量 (g)	0.01MPa 28日	0.55	JIS A 1404
	0.3MPa 28日	1.55	「建築用セメント防水材試験方法」
凍結融解試験	14日	300サイクル 異常なし	JSCE-1986 「コンクリート凍結融解試験方法」
表面水分 (%) 20℃	1日	6.3	高周波容量式水分計
	7日	4.1	

注)上記は当社実験室等で試験を行った結果であり、品質保証値ではありません。

● 温度と可使用時間の関係



■ 安全上の注意

目、皮膚等への接触や吸引を避けるため、適切な保護具(手袋、長靴、保護眼鏡、防塵マスクなど)を着用して下さい。

■ 応急処置

吸入した場合

速やかに新鮮な空気のある場所に移し、咳等が収まらなければ医師の手当てを受けて下さい。

皮膚に付着した場合

速やかに水で十分に洗い落とす。痛みがあったり炎症を起こした場合は医師の手当てを受けて下さい。

目に入った場合

清浄な水で15分以上洗眼した後、眼科医の診断を受けて下さい。

飲み込んだ場合

清浄な水で口の中を良く洗浄し、速やかに医師の手当てを受けて下さい。

● 本資料について

- ・本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- ・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。



特殊セメントの分野を大きくリードする

エレホン・化成工業株式会社

EREWHON

<http://www.erewhon.co.jp/>

● 本社・工場	〒870-0141	大分県大分市三川新町1-2-23	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
● いわき工場	〒979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平30-3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
● 大阪支店	〒564-0063	大阪府吹田市江坂町2-12-50	TEL (06) 6388-6585	FAX (06) 6388-6561
● 福岡支店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤1-9-10	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
● 関東・東支店	〒340-0055	埼玉県草加市清門町248-3	TEL (048) 951-1987	FAX (048) 951-1988
● 仙台支店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
● 名古屋支店	〒463-0048	愛知県名古屋守山区小幡南3-5-21	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
● 札幌営業所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
● 盛岡営業所	〒020-0838	岩手県盛岡市津志田中央3-6-11	TEL (019) 681-9531	FAX (019) 681-9532
● 新潟営業所	〒950-0925	新潟県新潟市中央区弁天橋通3-1-31	TEL (025) 286-6260	FAX (025) 286-6263
● 関東・北営業所	〒320-0056	栃木県宇都宮市戸祭2-5-5	TEL (028) 680-6313	FAX (028) 680-6323
● 関東・西営業所	〒224-0064	神奈川県横浜市都筑区平台19-24	TEL (045) 306-6200	FAX (045) 949-2015
● 北陸営業所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町2-11-25	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
● 神戸営業所	〒652-0032	兵庫県神戸市兵庫区荒田町3-75-1	TEL (078) 599-6630	FAX (078) 599-6631
● 広島営業所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合2-41-22	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
● 北九州営業所	〒807-0801	福岡県北九州市八幡西区本城1-19-1	TEL (093) 616-8470	FAX (093) 616-8471
● 熊本営業所	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山2-14-47	TEL 050-3399-7419	FAX (096) 388-6227
● 鹿児島営業所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原1-5-1-25	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
● ㈱エレホン・技研本社	〒781-0270	高知県高知市長浜19-3	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
● ㈱エレホン・技研岡山営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町1408-1	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230